

令和 5 年度事業報告

1 事業の概要

令和 5 年度の当センターの事業実績としては、前年度に比べ請負の受注額は 0.4% 増加とほぼ前年度並みに留まり、派遣の受注額は契約数の減少により 25.4% 減少、登録会員数は 24 人減となり、依然厳しい状況が続いています。

こうした中、独自事業の実施に向けては、シルバー農園の事業化を考える同好会を発足させ事業化への課題の洗い出しや様々な調査検討とともに、初心者向けパソコン講習会の開催準備を進めており、事業拡大に努めているところです。

また、会員の退会抑制を図り会員増を進めていく取り組みとして、ゴールド会員制度、夫婦会員会費割引制度、会員優待割引制度（シルバーフレンドリーショップ制度）の三つの制度について検討を進め、令和 6 年度内に導入することとしました。

また、経費の効率的な執行に努めるなど、財政健全化への取り組みを進めながら、登別市の協力を得て事業の適正な運営に努めました。

以下、各部会等が実施した事業について、報告いたします。

◎請負・委任

区 分	令和 5 年度	令和 4 年度	比較増減	対前年比
登録会員数	276 人	300 人	-24 人	-0.08%
受注件数	1,648 件	1,907 件	-259 件	-13.6%
受注金額	147,102 千円	146,506 千円	596 千円	0.4%

◎シルバー派遣

区 分	令和 5 年度	令和 4 年度	比較増減	対前年比
就業延人員	1,053 人・日	1,720 人・日	-667 人・日	-38.8%
受注件数	4 件	5 件	-1 件	-20.0%
契約金額	7,001 千円	9,386 千円	-2,385 千円	-25.4%

2 事業の実施内容

【総務関係】

1 各種会議の運営

センターの業務執行決定機関である理事会をはじめ、各部会、委員会を適時に開催し、事業の適正な運営を行いました。

◎定時総会 令和 5 年 5 月 30 日（火）14:00～ 登別市民会館中ホール

◎理事会 8 回 ◎就業調整委員会 5 回

◎総務部会 5 回 ◎配分金等検討委員会 2 回

◎事業開発部会 5 回 ◎理事及び監事候補者選考委員会 2 回

◎安全就業委員会 6 回 ◎班長会議 1 回

◎会報編集委員会 14 回

2 会員入会の促進

新規会員の加入促進を図ることは、安定的な受注確保をするうえで重要です。そのため会員、役職員が協力し合い、健康で働く意欲のある会員入会の促進に努めました。

(1) 会員と役職員で協力し合い、口コミ等による「会員ひとりが一人の加入促進運動」を引き続き実

施し、会員入会の促進に努めました。

(2) 毎月2回シルバー人材センターで開催している入会説明会を他の地区でも開催し、シルバー事業に対する理解と協力を得て会員の入会に努めました。

(3) 会員の入会促進を図るため、就業の開拓の取組みと併せて、新規会員、特に女性会員の入会に努めました。

(4) 高齢者活躍人材確保育成事業を活用したセミナー等を開催しました。

- ・実施日：令和5年7月28日（金）13：30～16：00
- ・場所：登別市民会館
- ・内容：メイクアップセミナー（心も体も元気になるメイクアップ術）
- ・講師：美容家 中田 純子 氏
- ・参加人数：6名

(5) 登別市主催の「かろやか元気塾」で新規会員の入会促進を図るため、シルバー人材センターのPR活動を行いました。

- ・6月20日、6月21日、8月31日 計3回

◎月別入会者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男性	1	2	4	4	0	3	1	2	2	1	1	0	21
女性	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	5
合計	2	3	4	4	1	3	2	2	2	1	1	1	26

3 行政機関や各種団体等との連携

事業の円滑な運営のため、登別市をはじめ、北海道シルバー人材センター連合会及び他市センターなど関係機関や団体との連携・情報収集に努めました。

4 情報の提供

インターネットや会報の発行、並びにボランティア活動など様々な機会を通じて会員及び市民への情報提供を行いました。

- (1) センターの事業計画書、収支計算書等について、一般の閲覧に供するなど情報公開に努めました。
- (2) ホームページの内容を随時更新し、より新しい情報発信に努めました。
- (3) 会報「よろこび」を年4回発行し、会員や賛助会員等に配布しました。
- (4) 市の公共施設等に、シルバー人材センターのパンフレットと会報「よろこび」を置き、広報活動に努めました。
- (5) 市民との触れ合いやセンター事業の理解を深めてもらうために、市民との触れ合いを重きにおいた事業の開催を目指しましたが、会場が確保できず開催には至りませんでした。

5 会員組織の充実

センターの運営状況や事業活動、各種行事等を通して役職員と事務局そして会員との意思疎通を図りました。

- (1) 地区別懇談会を開催し、会員の意見要望を聴取して組織の活性化に努めました。

◎実施状況

開催日	場所	班	参加人数
R6.2.21	鷺別コミュニティセンター	16・17・18・19・20・21・22・23	30名
R6.2.22	登別市民会館	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10 11・12・13・14・15	50名

(2) 地域班独自の懇談会や交流会等の開催にあたっては、センターの助成制度の積極的な活用を周知し、支援に努めましたが開催には至りませんでした。

(3) 会員同士の交流を図るため、各種講習会やイベントを開催しました。

- ・家庭菜園講習会

令和5年4月25日(火) 10:00～ 登別市民会館 大会議室

参加人数: 16名

6 事務局の効率的な運営

事務局内における情報の共有化を図り、各種研修会等への参加によって、職員の事務処理能力の向上に努め、業務の円滑な運営と効率化の促進に努めました。

(1) 北海道シルバー人材センター連合会の主催する各種の会議等に積極的に参加し、職員としての資質の向上に努めました。

・令和5年度会計担当者研修	令和5年 6月27日
〃 (第2回)	令和5年10月 2日
・令和5年度事務局長会議	令和5年 7月11日
・令和5年度安全適正就業推進委員会	令和5年 8月24日
・令和5年度業務担当者研修	令和5年10月19日
・令和5年度道南ブロック会議	令和5年10月26日～27日
・令和5年度安全就業推進員研修	令和5年11月 9日
・契約見直しに関する会計経理・税務のコンサルティング	令和5年11月20日
・令和5年度道南ブロック職員研修会	令和5年11月29日～30日
・令和5年度派遣実務担当者研修	令和6年 1月18日
・契約方法見直しに関する説明会	令和6年 2月20日
・令和5年度理事長会議	令和6年 2月29日

7 地域社会参加活動

地域社会に親しまれるシルバー人材センターを目指し、市民の理解・関心の向上のため、会員と役職員が協力し合い、ボランティア活動を実施しました。

(1) アイラブロード

- ・主 催 登別市
- ・日 時 令和5年7月11日(火) 10:00～
- ・場 所 市道カルルス路線(旧労働福祉センター～旧陸上競技場)
- ・内 容 植樹樹の除草・花苗の植込み等
- ・参加人数 28名

(2) みどりの講習会ボランティア講師

- ・主 催 登別市
- ・実 施 日 令和5年8月28日(月)
- ・場 所 亀田記念公園
- ・内 容 剪定講習会
- ・講 師 剪定班 八十嶋 弘充 氏
- ・参加人数 一般市民5名

(3) パソコンボランティア講師

- ・主 催 登別市社会福祉協議会
- ・期 間 令和5年8月8日～令和6年3月26日 毎週火曜日

- ・場 所 登別市総合福祉センターしんた21
- ・内 容 地域活動支援センター事業パソコン講座講師
- ・講 師 浦崎 政徳 氏、熊澤 郁夫 氏、柴田 秀秋 氏、佐藤 隆宏 氏

8 財政基盤の強化

財政基盤の確立のため、国、市からの補助金の増額や事業拡大の要請に努めました。また、全国シルバー人材センター事業協会の要請活動と併せ登別市長に独自要請を行いました。

- ・実施日 令和5年10月16日（月）
- ・場 所 登別市役所
- ・参加者 理事長、副理事長、事務局長、総務部会長、事業開発部会長

9 基本計画の推進

令和2年度を初年とする基本計画の推進を図るため、検証を行いました。

10 理事会の活性化

各分会、各委員会の組織運営の活性化に努め、理事の資質向上を図るため研修会を開催しました。

- ・役員研修会 令和5年9月 8日（金）道シ連主催 理事2名参加
- ・令和5年度理事研修会 令和6年1月31日（水）

11 福利厚生事業の実施

要綱に定める福利厚生事業の対象はありませんでした。

【事業開発関係】

1 仕事量の確保

事業の普及啓発と就業の確保・開拓に向けて役職員が一丸となって就業開拓の促進に努めました。

- (1)「会員一人が一就業開拓」を合言葉に、会員各自が口コミ活動により会員の就業機会の拡大に努めました。
- (2)労働者派遣事業の一層の推進を図るため、北海道シルバー人材センター連合会と連携・協力の下、会員の就業機会の拡大に努めました。
- (3)シルバー事業の活用と新規会員の加入促進を目的として、10月シルバーの日に大型店舗前でパンフレット等を配布する啓発活動を行いました。
 - ・実施日 令和5年10月10日（火） 10:00～11:00
 - ・参加者 27名
 - ・イオン登別 440部 ・コープさっぽろイースト店 305部
 - ・アーニス 209部 ・コープさっぽろのぼりべつ桜木店 213部
 - ・トライアル登別栄町店 250部 ・コープさっぽろのぼりべつ東町店 107部
 配布部数合計 1,524部
- (4)市広報紙にパンフレットを折込み、全戸配布し、会員の増加及び受注の拡大を図りました。（広報のぼりべつ9月号19,500枚）
- (5)生活支援サービスについて、福祉関係事業所との連携を図り、より一層の利用拡大に努めました。
- (6)就業開拓チームによる、就業開拓のための施策づくり及び推進を継続して取り組みました。

2 就業機会及び就業の適正化

- (1)会員の就業機会の公平化を図るため、可能な限り就業のローテーション化を図り、就業人員の拡大に努めました。

(2) 公共施設就業現場の実態把握及び就業上における改善点の有無等の確認のため、パトロールを実施しました。

- ・実施日 令和5年9月20日(水)、22日(金)
- ・実施施設 10カ所

(3) 就業経験のない仕事へのチャレンジを呼びかけるなどミスマッチの防止解消に努めました。

3 会員の能力向上

発注者から信頼される就業に向け、各種技能講習会等を実施しました。

(1) 就業のために必要とする技術と技能の向上及び安全意識の高揚を図るため、技能講習を実施しました。

・第1回草刈講習会

- 実施日 令和5年5月16日(火)
- 場 所 鉄南ふれあいセンター及び旧ニナルカ会館敷地
- 講 師 菖蒲 宏 氏
- 参加者 31名

・第2回草刈り講習会

- 実施日 令和5年8月22日(火)
- 場 所 市民活動センターのぼりん及び旧ニナルカ会館敷地
- 講 師 菖蒲 宏 氏
- 参加者 6名

・第1回剪定講習会

- 実施日 令和5年6月6日(火)
- 場 所 西公園(登別市中央町3丁目)
- 講 師 剪定班 八十嶋 弘充 氏
- 参加者 10名

・第2回剪定講習会

- 実施日 令和5年9月26日(火)
- 場 所 亀田記念公園
- 講 師 剪定班 八十嶋 弘充 氏
- 参加者 11名

(2) 剪定新規就業会員の初期投資負担軽減策として、脚立を期間限定で支援していますが貸与はありませんでした。

(3) 新入会員がスムーズに就業できるように、接遇研修・就業相談を実施しました。

- ・1回目 令和5年10月17日(火) 参加者：7名
- ・2回目 令和6年 3月15日(金) 参加者：2名

(4) 外部講師による全会員を対象とした、接遇研修を実施しました。

- ・実施日 令和5年11月7日(火)
- ・場 所 鷺別コミュニティセンター ホール
- ・講 師 伊藤 美奈 氏
- ・参加者 16名

4 独自事業の調査・研究・推進

(1) 就業開拓チームから就業可能な2件の独自事業の引継ぎを受け、事業化の推進に努めました。

【安全就業関係】

『令和5年度 事故防止重点実施項目』のスローガンを設定し、事故防止及び安全就業に努めました。

スローガン

《安全第一 事故ゼロを目指そう》

1 安全就業の徹底と事故防止

「安全は第一であり、すべてに優先する。」を合い言葉に、無事故を目指しましたが、飛び石等による物損事故4件が発生しました。

(1) 事業執行計画（安全就業実施計画）を作成し、年間を通して安全就業の推進を図りました。

(2) 安全就業委員会において、安全就業委員及び安全対策推進員による就業シーズンの最盛期である7月から10月の繁忙期に重点実施期間を設け、安全パトロールを実施しました。

・実施日 令和5年 7月13日（木）、令和5年 8月 3日（木）
令和5年 9月 7日（木）、令和5年10月 5日（木）

・場 所 市内11カ所

・人 員 12名

(3) ヒヤリ・ハット体験事例の報告が2件あり、会員に伝えることにより安全意識の高揚を図りました。

(4) 新規受注にあたっては、事前に発注者宅を訪問・下見を実施し、仕事の内容や就業形態等を確認してから会員に提供し会員の安全かつ適正就業の確保に努めました。

(5) 令和4年度から取り組んだ「草刈り作業における事故防止対策」の徹底を図りましたが作業別安全就業基準違反による物損事故が1件発生しました。

(6) 事故を起こした会員に対し、速やかに事故報告書の提出を求め、再発防止に努めました。

2 安全就業普及活動の実施

(1) 会員の安全就業啓発のため、定時総会時に併せて「安全宣言大会」を実施し、事故防止の意識高揚に努めました。

・実施日 令和5年5月30日（火）

(2) 「安全だより」の発行を行い、安全就業に関する意識の高揚を図りました。

（4月号、7月号、10月号、1月号）

(3) 作業中の安全意識を高めるため、新入会員にシルバー人材センター安全のしおりを配布しました。

(4) 会員に対し、「安全標語」の募集・表彰を行い全会員の安全意識の高揚を図りました。

(5) 各種講習会において安全一口講話を実施し、安全意識の高揚を図りました。

3 会員の健康管理

(1) 会員の健康管理の徹底を図るため、健康診断の受診を奨励しました。

健康診断受診者：244名 未受診者：31名

(2) 登別市担当グループの協力を得て、会員の健康維持のための「健康講話」を開催しました。

・実施日 令和6年1月23日（火）

・場 所 鉄南ふれあいセンター 3階ホール

・講 師 登別市保健福祉部健康長寿グループ 保 健 師 上原 志帆 氏
管理栄養士 安井 桜子 氏

・内 容 フレイル予防について
かるやか体操

・参加者 26名

(3) 登別市消防署の協力を得て、救命処置要領等の習得のための「救急救命講習会」を開催しました。

- ・実施日 令和6年3月5日（月）及び8日（木）
- ・場 所 鉄南ふれあいセンター 3階ホール
- ・講 師 登別市消防職員
- ・内 容 救命講習Ⅰ
- ・参加者 24名

4 交通安全

交通事故防止のため、室蘭警察署の協力を得て「交通安全講話」を開催しました。また登別市と連携して地域の交通安全啓発活動に参加しました。

(1)交通安全講話

- ・実施日 令和5年11月16日（木）
- ・場 所 鷺別コミュニティセンター 2階ホール
- ・講 師 室蘭警察署交通第1課企画規制第1係主任 安田 莉奈 氏
- ・内 容 交通事故防止について
- ・参加者 26名

(2)交通安全啓発活動（人と旗の波街頭啓発活動）

- ・令和5年7月19日（水） 幌別小学校前 参加者：8名
- ・令和5年9月20日（水） イオン登別店前 参加者：15名

5 情報収集

北海道シルバー人材センター連合会の主催する安全就業に関する各種会議に参加するとともに、クリンクルセンター安全衛生推進会議に参加し情報収集を行い、会員の安全就業に努めました。

【有料職業紹介事業】

有料職業紹介事業を実施しましたが、職業紹介には至りませんでした。

3 事故発生状況

物損事故発生状況（4件）

件数	発生日時	性別	事 故 の 状 況
1	令和5年 7月12日(水) 15:50頃	男	介護事業所利用者の送迎業務中に利用者を自宅に送る途中、大和町1丁目交差点付近を走行中に交差点で停止している車に気づき衝突を避けるため左にハンドルを切った際、歩道近くの街路灯に衝突して車両左側前方を大破させた。
2	令和5年 7月21日(金) 14:30頃	男	登別市栄町の工場敷地内の除草作業を乗用芝刈り機を使用して作業中に、同敷地内の建物のガラスを乗用芝刈り機による飛び石で破損させた。
3	令和5年 8月9日(水) 9:15頃	男	登別市登別本町の個人宅（空き家）の除草作業中（防護ネット使用）、刈刃による飛び石により駐車中の軽自動車の右側面後部ガラスを破損させた。
4	令和5年 9月6日(水) 14:30頃	男	登別市中央町の個人宅の除草作業中（ナイロンコード使用）、ナイロンコードによる飛び石により玄関フードのガラスを損傷させた。